

全校朝会（タヌキと絵描き歌）

2018. 11. 26

6年生に、好きな教科についてインタビューしました。

先週の木曜日に、「この間、コウモリが飛んでいたよ。」と教えてくれた人がいました。丁度、その日、私は朝学校に来る時にタヌキを見たので、そのことを伝えました。最初は何か動物がいるなと思い近寄ってみたら猫よりも大きくてもっとふわっとしていて、目が丸くてほっぺたの辺りの毛が外側に広がっていました。「あっ、タヌキだ！」ということが分かって、とてもびっくりしました。

タヌキのでてくる話はたくさんあります。歌もあります。言葉もあります。みなさんは、「獲らぬ狸の皮算用」という言葉を聞いたことはありますか。まだ捕まえてもいないのに、もしもたくさん捕まえたら狸の皮はけっこう高く売れるから売ったお金で車を買おう。車は黄色にしようかな。テレビも付けて屋根が開くようにして座席はふかふかにして、そうしたら家族で旅行に行こう、どこがいいかな・・・というように想像をふくらませてしまって、気付いたら「あっ、まだタヌキをつかまえていない」ということが分かる・・・まず、やることをやってそれから考えましょうと言う時などに使われます。

タヌキの出てる話はとてもたくさんあります。1番に思い出すのは、入学式で2年生が聞かせてくれた「たぬきの糸車」です。わなにかかったタヌキが冬の間にお礼に糸をつむぐお話で「キーカラカラ キークルクル」という糸車の音が印象的です。「たぬきの花嫁道中」という話も面白いです。山の中に住むたぬきのお姉さんが都会にお嫁に行くことになるのですが、タヌキにとっては、都会の方が不便な場所ですからとても心配。みんなで都会を見に行き、初めての電車やエレベーターやレストランにびっくりするお話です。タヌキの自転車もとてもみじかいけれど、ぜひ読んでほしいお話です。タヌキの子供がほしかった自転車を買ってもらったので、さっそく乗ると自分の尻尾をひきそうになってしまいます。そこでしゃまなしっぽを口にくわえると「やーい、食いしん坊」と言われてこまってしまうお話です。むかしのように思う存分自転車で走り回りたいたいと思っている自転車屋のおじさんのところに不思議なお客さんがやってくる「かんすけさんとふしぎな自転車」というお話もおもしろいです。

タヌキの出てる歌も『証城寺の狸囃子（しょうじょうじのたぬきばやし）』『あんたがたどこさ』『山寺の和尚さん』『山の音楽家』などたくさんあります。

タヌキの絵描き歌と言うのもありました。今日は絵描き歌を紹介します。「さんちゃんがさんぼしてさんえんもらってまめかっておくちをとんがらしてぼくたぬきばってん」と歌いながら簡単な絵を描くのが絵描き歌です。私が子供の時によく描いたのはコックさんの絵描き歌です。「ぼうが一本あったとさ はっぱかな はっぱじゃないよカエルだよ カエルじゃないよアヒルだよ 6月6日に 雨ザーザー降ってきて 三角定規にひびいて あんパン2つ 豆3つ こっぺパン2つくださいな あっというまにかわいいコックさん」と言うものです。歌いながら描くだけなのですがけっこう楽しいのでみなさんも描いてみてください。

サッカーの表彰をしました。